令和8年度 第7号

天小だより

命輝き 笑顔あふれる 天神川小学校
令和8年10月1日
伊丹市立天神川小学校
校長 徳田 達郎
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ

青少年読書感想文 兵庫県コンクール

本校児童の読書感想文が、伊丹市の代表として、兵庫県コンクールに出品されることになりました。

本との出会いは、自分自身を見つめるきっかけにもなります。登場人物の姿を自分の経験と重ねながら、クラスの中で自分にできること、自分らしい役割とは何かを考えています。素直な思いがつづられた作品を、ぜひご覧ください。

「私らしいポジション」

私が、『ポジション』を読もうと思ったきっかけは、ポジションとはどういう意味だろうと思ったからです。調べてみると、自分の役割や立ち位置のことでした。

この本を読んで、私は、芽吹が苦手なことでもあきらめずに、がんばって練習をしたことがすごいと思いました。

私も芽吹と似たような経験があります。私が四年生の時、クラスの半分以上の人が鉄ぼうの前回りが出来ているのに、私は出来なくてはずかしい思いをしました。みんなみたいに前回りができるようになりたいと思い、冬休みにお母さんと一緒に公園に練習をしに行きました。最初は、こわくて私には出来ないと思ったけれど、お母さんが、「だいじょうぶ。藍以怜なら出来るよ。がんばって」と何回も言ってくれたので、やってみようという気持ちになりました。何度も何度もあきらめないで、がんばりました。初めて前回りが出来た時は、とてもうれしくて思わず飛びはねました。出来るようになるまでがんばって、本当に良かったなと思いました。

この気持ちは、リバウンドやボックスアウトが初めて出来た時の芽吹の気持ちと同じだったと思います。芽吹ががんばってくれて、私もうれしい気持ちになりました。芽吹は、練習をしてたくさんがんばったから、自信がついて前向きな気持ちになれたんだと思いました。

芽吹は、リバウンドやボックスアウトが試合で成功した時、チームの中の自分の役割「ポジション」を見つけました。私のクラスの中でのポジションは何だろうと考えました。

私のクラスの学級目標は、「一致団結で喜楽満開」です。みんなで一つになって、喜怒哀楽の「怒」と「哀」が少ない笑顔いっぱいのクラスを目指すという意味です。私は、前に出てみんなを引っ張っていくタイプではありません。クラスの中で、困っている友達に声をかけたり、「教えて」と言えずに困っている友達に自分から教えてあげたりすることが多いです。私は、みんなが笑顔で楽しく過ごせるクラスにしたいです。そのために、これからも困っている友達がいたら自分から声をかけてみんなが楽しく過ごせるようにしていきたいです。これが、私らしいポジションだと思いました。

この本を読んで私は、自分の役割や立ち位置について考えることが出来ました。そして、みんな一人一人にポジションがあって、自分に出来ることをあきらめないで、がんばることが大切なのだと思いました。苦手だからとすぐにあきらめるのではなく、最後までがんばって続けることで、自信につながることを学びました。これからは、今の自分でも出来ることをもっと見つけて、一つずつ出来ることを増やしていきたいと思いました。みんなが笑顔で過ごせるクラスになるように行動していきたいです。